

広報ふたば



【表紙写真】再興 ～想いと願いと体験と～ (町立学校 梅檀祭)

令和5年度双葉町表彰式



▲ 後列左から、館下教育長、徳永副町長、平岩副町長
 前列左から、ランドポート株式会社 川添様、傳馬様、伊藤議長、伊澤町長、FUTABA Art District 赤澤様、山本様、松永様

「功績をたたえて」

11月3日、双葉町役場において、令和5年度双葉町表彰式が挙行されました。

長年にわたり町の消防活動や地方自治行政に貢献された2人の方に表彰状と記念品が、町の復興のために多額の金員等の寄付や活動をされた2人と2団体に感謝状と記念品が贈られました。

式では伊澤史朗町長の式辞に続いて、伊藤哲雄町議会議長、橋本徹県議会議員、佐々木恵寿県議会議員が祝辞を述べ、受章者を代表してランドポート株式会社代表取締役の傳馬綾さんが、「令和3年に、復興に向けて頑張る双葉町の姿を一人でも多くの方に知ってもらいたいと双葉町復興応援プロジェクトを開始、事業を継続し微力ではありますが町に貢献することができましたのも、ご来賓の皆さまや関係者の方々のご協力があったからこそと、心から感謝申し上げます」と謝辞を述べました。
 受章者は次のとおりです。



▲ 町長式辞

令和5年度 双葉町表彰者

(順不同・敬称略)

永年勤続表彰

◇ 多年にわたり双葉町消防団員として消防活動に貢献

池下 修一様 (新山)

消防団員25年

◇ 多年にわたり双葉町消防団員として消防活動に貢献

◇ 多年にわたり双葉町職員として地方自治行政の進展に寄与

志賀 寿三様 (長塚一)

消防団員25年
 職員30年

感謝状

◇東日本大震災以降、壁画アートを制作することで来訪者増加に貢献

FUTABA Art District様

(東京都、いわき市)

◇東日本大震災以降、ソーラー充電式ランタン「CARRY THE SUN」を寄贈

ランドポート株式会社

代表取締役 傳馬 綾様

(東京都千代田区)

◇双葉町復興のため、ふるさと応援基金寄付金として多額の金員を寄付

清水 瑞江様 (大阪府大阪市)

◇東日本大震災以降、多年にわたり小菊を寄贈

山口 賢孫様

和子様

(滋賀県長浜市)



▲ 謝辞を述べられる傳馬綾様

***** ランタン贈呈式 *****

11月3日、表彰式終了後ランドポート株式会社(代表取締役 傳馬綾様)よりソーラー充電式のランタン「CARRY THE SUN」200個の贈呈式が行われました。

ランドポート(株)様は、町内の壁画アートをデザインした「双葉町モデル」を販売し、販売数と同じ数を町に寄贈する取り組み(Buy One Give One®方式)を進めていただいております。

寄贈いただくのは3回目となり、これまでにいただいた485個のランタンと合わせて、今後も町内のイベント等で希望の灯りとして周囲を照らすほか、災害時用に備蓄するなど活用してまいります。



町民の皆さまへ

早いもので令和5年の最後の月、師走を迎えました。11月は例年になく気温が高く暖かい日が続いていましたが、日ごとに寒さが増し、JR双葉駅周辺の街路樹もすっかり葉を落としました。

さて、10月12日から25日までの期間に県内外11カ所で開催した町政懇談会では、特定帰還居住区域の復興再生計画をはじめ、令和6年度町税の課税の方向性、農地の保全管理から営農再開等について、各会場で説明させていただきました。ご出席いただきました皆さまには心から感謝申し上げます。皆さまからいただきました貴重なご意見・ご要望については検討させていただきます。今後の復興まちづくりに反映してまいります。

報道等でご存じかと思いますが、10月31日、東京都において不動産業の大和ライフネクスト株式会社と21件目となる企業立地協定を締結しました。

大和ライフネクスト株式会社は、経済産業省の自立・帰還支援雇用創出企業立地補助金を活用して、双葉町にカンファレンスホテルを建設します。隣接する伝承館の利用者や、今後整備予定の福島県復興祈念公園に訪れたインバウンドを含む観光客が宿泊出来るホテルとなり、また浜通り地域内でも最大級のカンファレンスを有するため、国際会議の呼び込みや、教育機関・企業など各種団体の研修施設としての利用が可能なるホテルとなります。福島県が推進する被災地を巡り、学びを備えた旅行である「ホープツーリズム」での活用や、今年4

月に設立された福島国際研究教育機構（FIRE）に関連した学術会議、フィールドワークにおいて重要な役割を果たす施設になると確信しております。多くの方に浜通り、双葉町を訪れてもらい、被災状況が残るありのままの姿と、復興に向け果敢にチャレンジする姿の両面を感じてもらえることと思います。

立地予定場所は、中野地区復興産業拠点内の東日本大震災・原子力災害伝承館の北側にある約2.3ヘクタールの土地になります。令和7年度に開業する予定であり、交流人口の拡大につながることから、双葉町の復興にさらに弾みがつくものと大きな期待を寄せております。

11月3日には、令和5年度双葉町表彰式を挙行しました。新しい庁舎での初めての開催となった今年度の表彰式では、永年勤続表彰として、多年にわたり消防団員及び双葉町職員として職務に精励された2人の方に表彰状を贈りました。

また、多額の寄付や避難者支援などに多大な貢献をされました2団体と2人に対して、感謝状をお贈りしました。改めて敬意と感謝を申し上げます。

コロナ禍からの日常が戻り、行事等も通常開催ができるようになりましたが、現在はインフルエンザが流行していますので、引き続き感染予防策をお願いします。

町民の皆さまにおかれましては、ご壮健にて新しい年を迎えられますよう心よりご祈念申し上げます。

双葉町長 伊澤 史朗

町内視察が行われました

11月7日、次世代モビリティ都市間ネットワーク（会長 豊田市 太田稔彦市長）の皆さま約30人が、双葉町を訪れ、双葉町役場や中野地区復興産業拠点内を視察され、町の復興とモビリティ活用に向けた意見交換を行いました。

9日には埼玉東部消防組合（管理者 久喜市 梅田修一市長）及び同組合議会の皆さま25人が、視察研修のため来町されました。友好都市である加須市の角田守良市長も副管理者として参加され、双葉町役場で伊澤史朗町長から町の復興状況について説明し、意見交換を行った後、JR双葉駅周辺と駅西住宅等を視察されました。



次世代モビリティ都市間ネットワーク町内視察



埼玉東部消防組合及び組合議会視察研修

大和ライフネクスト株式会社と 中野地区復興産業拠点企業立地協定を締結

10月31日、大和ライフネクスト株式会社と中野地区復興産業拠点への企業立地協定を東京都江東区のL stay&grow 南砂町にて締結しました。この協定に基づき、大規模な国際会議、学術会議を開催できる会議室を備え、客室数約100室とレストラン、スパなどを併設した地域最大級のカンファレンスホテル「FUTATABI」が、令和7年度に開業予定です。

竹林桂太朗代表取締役社長は、「研修を目的としたホテルを運営する私たちは、震災や災害を学ぶ上でも双葉町を最適な地と信じて、立地を決めました」と協定締結に至った経緯を述べられ、伊澤史朗町長は「福島復興を世界に発信できる場所になると確信しています」と歓迎しました。

協定締結式の会場となったホテルは、大和ライフネクスト(株)が運営するホテルであり、終了後に見学も行われました。

大和ライフネクスト株式会社

- 所在地(本社) … 東京都港区赤坂5-1-33
- 設立 … 昭和57年3月
- 代表者 … 代表取締役社長 竹林 桂太朗
- 事業 … マンション・ビル・物流施設・商業施設ホテルなどの建物管理、宿泊施設運営事業、企業寮賃貸運営事業



ふれあいニューススポーツ交流大会 囲碁ボールで優勝

10月19日、郡山市西部第二体育館で、福島県老人クラブ連合会主催の「ふれあいニューススポーツ交流大会 チャンピオン大会」が開催されました。

双葉町老人クラブ連合会は、8月1日に浪江町地域スポーツセンターで行われた浜通り地区大会で囲碁ボールとポッチャの2種目で1位となり、浜通り地区の代表として参加しました。

試合は県内6地区の全チーム総当たりのリーグ戦で、双葉町は囲碁ボールにおいて優勝を果たしました。選手の皆さん大変お疲れさまでした。



双葉町消防団秋季検閲式

10月21日、東日本大震災と東京電力福島第一原子力発電所事故以来13年ぶりに町内（JR双葉駅東口広場）において、令和5年双葉町消防団秋季検閲式が開催され、渡辺浩美団長をはじめとする40人の消防団員が参加し、式に臨みました。

式は殉職消防団員並びに東日本大震災犠牲者に対する黙とうで始まり、石橋清則技術分団長の号令のもと伊澤史朗町長と来賓の方々による閲団、通常点検が行われました。

伊澤町長は「団員が全国に避難している状況下であるが、地域防災の中核として今年度完成した屯所を拠点に、消防人として地域社会に根づいたまとめ役となり、より一層活躍してほしい」と式辞を述べました。

続いて、来賓の橋本徹県議会議員、佐々木恵寿県議会議員、伊藤哲雄町議会議員、関根昌典県相双葉地方振興局長、杉崎俊秀双葉警察署浪江分庁舎所長並びに小松裕之浪江消防署長が各々祝辞を述べられた後、令和2年より延期や中止が続いたため4年分の団員に対する表彰の披露が行われました。

最後に渡辺団長より、「ふるさとである双葉町へ居住が開始されたことから、地域防災の要として住民の信頼に応えるべく、地域の安全・安心を守る責任感をより一層強くしていかなければならない」と訓示があり、団員たちは士気を高めました。



温かいご支援をありがとうございます

10月22日、埼玉県のボランティア団体「鵜ノ木虹のかけ橋」様より双葉町民の皆さんへと、義援金をご寄付いただきました。

「鵜ノ木虹のかけ橋」会員の皆さまは、東日本大震災を忘れてはならないと、被災地を訪れ、直接義援金を手渡す活動を続けてこられました。

当日は、会員14人が双葉町役場を訪れ、職員から町の復興状況などについて説明を聞きました。



双葉町立幼稚園・小中学校 合同文化祭

伝えよう 僕らの想いを！
みんなで作る梅檀祭

梅檀祭

10月21日、町立学校体育館において幼稚園・小中学校合同の文化祭「梅檀祭」が行われました。「伝えよう僕らの想いを！みんなで作る梅檀祭」のスローガンのもと、合唱やダンス、劇など何カ月も練習を重ねた成果を発表しました。

幕開けは、幼稚園児による劇「科学戦隊シビックマン」で、年少児もセリフを覚え熱演しました。

小学校下学年は、朗読、楽器の演奏など3部構成で8人がびつたりと息の合った表現を見せ、上学年はスーパーマリオのキャラクター達に扮した16人が、体育館のステージを広く使って、縄跳びや一輪車、跳び箱などを披露しました。技が成功するかどうか、会場内の緊張感が高まりました。

中学生は、9月に実施した職場体験で感じたことを、「再興〜想いと願いと体験と〜」と題し、双葉町に関わって働く人や町に住む人の想いについてまとめ、体験した施設ごとに発表しました。その後のダンス「ときめきを運ぶ列車 Choo Choo TRAIN」も、堂々

と自信に満ちた発表でした。梅檀祭の終盤には、小学校全児童と教職員による合唱と、小学校上学年と中学生によるせんだん太鼓の演奏がありました。歌声のハーモニーや力強い演奏に、保護者や会場内の参加者は聞き入っていました。

どの発表も園児・児童・生徒の一生懸命な姿に、会場から惜しみない拍手が送られました。コロナ禍による観覧人数の制限もなく、家族や関係者が見守る中、梅檀祭は幕を閉じました。



◆ 双葉中学校が特別賞を受賞 ◆

10月14日、郡山市内において「ふくしまゼロカーボンへの挑戦表彰制度（学校版）」表彰式が行われ、双葉中学校が特別賞を受賞し、生徒会の代表生徒が内堀知事より表彰状を受け取りました。

双葉中学校では、生徒会活動として「ゴミ拾い」と「保護者等を対象としたSDGsの出前講座」を行っており、継続的な取り組みが評価されたものです。当日は、活動をポスターにまとめ展示し、内堀知事との記念撮影も行われました。



相馬家当主が来町

10月20日、相馬家33代当主 相馬和胤さんが来町され、国道6号沿いにある慰霊碑で献花を行ったのち、相馬妙見宮初發神社と東日本大震災・原子力災害伝承館を見学されました。当主は、震災以降毎年被災地を訪れ、献花を行っています。

町からは館下明夫教育長、双葉町騎馬会からは相馬野馬追功労者の谷津田光治さん並びに標葉郷侍大将の中川健治さんが、当主を出迎え、献花等に同行しました。



▲写真左から谷津田さん、相馬家当主、館下教育長、中川さん

双葉中学校のピアノが復活

震災当時双葉中学校の音楽室にあり、授業等で使われていたグランドピアノが12年半ぶりに復活しました。ピアニストの西村由紀江さんらにより、被災地のピアノを再生する目的で今年8月に搬出されました。ピアノは調律師の遠藤洋さんの手により修理・調律され、11月4日浅野燃糸株式会社双葉営業所の中庭でお披露目しました。

お披露目の後に行われたピアノリサイタルの詳細は、9ページの教育長メッセージをご覧ください。

▶ ピアニストの西村さん（左）と調律師の遠藤さん（右）



リサイタルは中野地区復興産業拠点立地企業協議会が主催したものです。

～教育長メッセージ～

夢と希望のある「学び」へ

早いもので令和5年も師走を迎え、総まとめの時期となりました。今年も、国内はもとより、世界各国において異常気象とも言うべき自然災害が起り大きな被害に見舞われた地域が多くありました。猛暑が続いたり、大雨による線状降水帯が発生したりと、今までに経験したことのない天候の変動が毎日のように報道されました。もはや、連日の猛暑は、異常ではなく常態化されてきているようにも思えます。そして、新型コロナウイルス感染症は第5類へ移行され大幅に活動範囲や活動内容が見直され、コロナ禍以前の状態に人々の流れが戻って来ました。一方で、感染拡大対策の緩和により、季節性インフルエンザが例年より流行しているとも報道されております。ご家庭におかれましても再度、基本的な感染症予防対策に取り組んでいただき、この冬を安全で健康的に過ごしてほしいと思います。

東日本大震災と東京電力福島第一原子力発電所事故による全町避難から、12年8カ月が経過し、避難指示解除（旧特定復興再生拠点区域）、そして双葉町役場新庁舎における業務再開から1年2カ月以上が過ぎました。町内での居住人口も100人近くまで増えてきております。復興・創生が一步一步進む中「復興まちづくり計画」の中に、夢と希望のある「学び」へ、学校教育をどのように位置付けていくか、『文教の町、双葉町』を継承しつつ、町の将来を担う子どもたちをどのように育てていくか。「まちづくりは、人づくり」の理念を基盤としつつ、令和5年度組織された「学校設置検討委員会」において丁寧に議論を進めているところであります。

● 震災から12年復活ピアノプロジェクト；『西村由紀江ピアノリサイタル in 双葉町』

11月4日、浅野燃糸(株)双葉事業所フタバスーパーゼロミルの中庭で開催されました。双葉中学校音楽室に12年もの間、眠っていたピアノを復活させるプロジェクトが始動。ピアノ調律師の遠藤洋氏の手により生まれ変わったピアノ、そしてピアニストの西村由紀江さんによるリサイタル。コーラスふたばの皆さまも出演し、「双葉中学校校歌」「双葉町民の歌」「ふるさと」を西村さんの伴奏により披露し、大変感動しました。多くの町民の方々や西村さんのファンの皆さまが訪れ、よみがえった素晴らしいピアノの音色に聞き入っておりました。これも、双葉町中野地区復興産業拠点立地企業協議会の勝山広幸会長はじめ皆さまのご理解とご協力があってこそその実現でした。この場を借りて御礼申し上げます。誠にありがとうございました。



▲ ピアノの除幕式が行われました。

● 第50回 勿来地区総合芸能祭

11月12日、勿来市民会館大ホールにて開催されました。関係者の手作り感あるステージワークで、みんなで作り上げる芸能祭は素晴らしいものでした。双葉町からも4団体が出演され、特に4団体それぞれの完成度は高く、表現力の技能、迫力ともに感動しました。出演された皆さま、ありがとうございました。そしてお疲れさまでした。

◎コーラスふたば ◎標葉せんだん太鼓保存会 ◎J Aスマイル大正琴 ◎双葉町民謡同好会

双葉町教育委員会教育長 館下 明夫

双葉町ダルマ市開催のお知らせ

双葉町ダルマ市を開催しますので、ぜひご来場ください！

■日時：令和6年1月6日(土)・7日(日) ■場所：JR双葉駅前
 ■主催：双葉町ダルマ市実行委員会

プログラム

6日(土) 10:00～16:00

時間	内容
10:00	開会式
10:30	子ども樽みこし
11:00	アンパンマンショー①
12:00	LOVE FOR NIPPON ステージ
13:00	巨大ダルマ引き
13:30	お笑いステージ(U字工事)
14:00	アンパンマンショー②
15:30	どんと祭(初發神社)

7日(日) 9:00～15:00

時間	内容
9:00	奉納神楽大会(初發神社)
10:00	第33回双葉町芸能発表会 前沢の女宝財踊 相馬流れ山踊り
12:00	ダルマみこし
13:30	大道芸
14:30	閉会式

ダルマ販売や飲食など模擬店も多数出店！

- ステージや出店内容などの詳細は、町公式ホームページで随時お知らせします。
- 当日は双葉駅前の交通規制を行います。
- 内容は変更される場合があります。
- 「子ども樽みこし」に参加いただけるお子様も募集していますので、復興推進課までお問い合わせください。



ふたばダルマ市 in 勿来 勿来でも開催します！

日時 令和6年1月27日(土) 場所 復興公営住宅勿来酒井団地 敷地内
 9:00～16:00

主催 夢ふたば人

内容 模擬店出店(夢ふたば人限定焼うどん ほか)、ステージショー、和太鼓等
 (当日の天候により内容変更の可能性あり)

両会場ともに駐車スペースに限りがありますので、相乗りや、公共交通機関、観光協会の見学バス利用にご協力ください。(観光協会見学バスのチラシは今月号に同封しています)

1月5日(金)～7日(日)

◆第34回双葉町総合美術展◆

主催 双葉町芸術文化団体連絡協議会

場所：双葉町産業交流センター



▲ 昨年の総合美術展、町民作品展の様子

日 時	
1月5日	14:00～15:00
1月6日	10:00～15:00
1月7日	10:00～15:00

1月7日(日)

※時間は目安です

◆奉納神楽大会◆ 主催 双葉町教育委員会

場所：相馬妙見宮初發神社



時間	内 容	団 体 名
9:00	昇殿参拝	
9:20	開会式	
9:30～	神楽奉納(順不同)	三字芸能保存会
		渋川芸能保存会
		新山芸能保存会

◆第33回双葉町芸能発表会◆ 主催 双葉町芸術文化団体連絡協議会

場所：駅前ステージ

時間	演 目	団 体 名
10:00	開会	
10:10	双葉町民の歌、心の瞳、いい日旅立ち	コーラスふたば
10:25	長唄 宝船、津軽三味線合奏、秋田大黒舞	双葉町民謡同好会
10:40	富士山、悲しい酒、八木節	J Aスマイル大正琴
10:55	いなづま、夏	標葉せんだん太鼓保存会
11:15	ふたば音頭	
11:20	閉会	

◆前沢の女宝財踊・相馬流れ山踊り◆ 主催 双葉町教育委員会

場所：駅前ステージ

時間	演 目	団 体 名
11:30	前沢の女宝財踊	前沢の女宝財踊保存会
11:45	相馬流れ山踊り	相馬流れ山踊り保存会

【問い合わせ先】 ダルマ市に関すること 復興推進課 商工労政係 ☎ 0240-33-0127
 芸能発表会に関すること 教育委員会 生涯学習課 ☎ 0240-33-0206

双葉町民作品展覧会の開催について

令和5年度第8回双葉町民作品展覧会を下記により開催いたします。作品も募集しておりますので、町民の皆さんの出品をお待ちしております。

展示スペースに限りがあるため、出品状況によっては全ての作品を展示できない場合がありますので、あらかじめご了承ください。

日 時 令和6年1月6日(土) 10:00～15:00
令和6年1月7日(日) 10:00～15:00

場 所 双葉町産業交流センター(双葉町大字中野字高田1-1)
※第34回双葉町総合美術展と同時開催となります。

申込期間 令和5年12月11日(月)～15日(金)

入 場 無 料

出品方法 申し込み期間内に申込書を作品とともに生涯学習課まで提出してください。詳細については実施要項をご確認ください。申込書と実施要項は町公式ホームページからダウンロードいただくか、双葉町教育委員会生涯学習課、各支所で配布しています。作品の返却については出品者自身での回収にご協力をお願いします。

【問い合わせ先】 教育委員会 生涯学習課 ☎0240-33-0206

12月10日は人権デーです

法務省人権擁護局及び全国人権擁護委員連合会では、12月10日(世界人権宣言採択日)の「人権デー」を最終日とする1週間を「人権週間」と定め、各地で世界人権宣言の意義を訴えるとともに、人権尊重思想の普及高揚を図るための行事を計画しています。

現在の我が国の状況をみると、いじめや虐待、性的被害等のこどもの人権問題、インターネット上の人権侵害、障がいのある人や外国人、性的マイノリティ等に対する不当な差別や偏見などといった多様な人権問題が依然として存在しています。

そこで、福島地方法務局及び福島県人権擁護委員連合会では、12月4日から10日までを「第75回人権週間」とし、当該週間を中心に啓発活動及び相談活動を行います。

また、人権週間に限らず、電話相談を実施していますので、悩み事がありましたら下記のダイヤルにお電話ください。秘密は守られます。相談は、人権擁護委員及び法務局職員が対応しますので、お気軽にご相談ください。

- みんなの人権110番 ☎0570-003-110
- 子どもの人権110番 ☎0120-007-110
- 女性の人権ホットライン ☎0570-070-810

(相談時間：年末年始を除く平日、午前8時30分～午後5時15分)

【問い合わせ先】 福島地方法務局 人権擁護課 ☎024-534-1994

【特設人権相談所】 日時：12月7日(木) 午前10時～午後3時
場所：双葉町いわき支所 ☎0246-84-5200

ふたば幼稚園だより

ふたば幼稚園での園児たちの日常の様子をお知らせします。



梅檀祭

10月21日に梅檀祭が開催され、幼稚園は「科学戦隊シビックマン」を発表しました。今年度、親子遠足で「日立シビックセンター科学館」を見学に行き、科学の色々について勉強したことをみんなに教えたいとの思いで、毎日練習を重ねました。最初は体育館で大きな声を出すことに苦労していましたが、毎日の練習で段々と大きな声が出るようになって自信につながったようです。梅檀祭当日は、朝から緊張した面持ちの年長児と年少児でしたが、本番が始まると練習以上の力を発揮し、一人一人が舞台の上で輝いていました。

年間を通して行っている食育指導ですが、今回は「小麦粉」について学びました。いつも子どもたちが目している小麦粉は何からできているのか、小麦粉がどのように加工され自分たちの口に入るのかを双葉町健康福祉課 管理栄養士の岡部さんに教えてもらいながら、みんなで学習しました。小麦とお米はどちらもイネ科であること、お米も粉にするとパンが作れたりと色々な気づきがありました。学習後は、楽しみにしていた「鈴カステラ」作りをしました。自分たちで材料を混ぜ、生地を流し入れ、コロコロ転がして形を作るのがとても楽しかったようで、何度も挑戦していました。

食育指導



【問い合わせ先】 ふたば幼稚園 ☎ 0246-88-8084 **子育てサロン実施中です!**

双葉町結ぶ会 『芋煮会』



11月3日、双葉町結ぶ会が主催する芋煮会が、駅西住宅集会所で開催されました。

双葉町に暮らす人、働く人など皆さんと親睦を深めたいと開催された芋煮会には、町内から約55人が集まりました。福島風と山形風、2種類の芋煮と、手作りのいかにんじん、産業交流センター内フードコートで営業しているペンギン特製のおにぎりに舌鼓を打ち、用意した芋煮は、あっという間に完食となりました。

どのテーブルでも笑い声が響き、楽しい秋の1日となりました。



今月の双葉ダルマさん

10月27日から29日まで、兵庫県淡路島で全国のゆるキャラが集合し、グランプリを決めるイベントが開催され、双葉ダルマさんも参加しました。

ブースでは、訪れた方々に町の現状を伝える動画などを見ていただき復興をPRしました。



1位になったうどん脳(香川県)になくさめられる双葉ダルマさん

双葉ダルマさんはインスタやTikTokを随時更新中です。チェックしてね。



インスタ



TikTok

双葉ふれあいクラブより

● 第10回 市町村対抗福島県ソフトボール大会

10月15日、第10回市町村対抗福島県ソフトボール大会が相馬光陽グラウンド（相馬市）を会場に開催され、双葉町は須賀川市と対戦しました。

秋晴れの下、両チームとも四球やエラーがほとんどなく、非常に引き締まった試合となりました。強豪相手に大健闘の試合でしたが、惜しくも二回戦に勝ち進むことができませんでした。選手の皆さん大変お疲れさまでした。



● 令和5年度 双葉町民トレッキング

10月28日、双葉ふれあいクラブ主催の双葉町民トレッキングが開催され、県内外から、23人の参加者が秋の双葉町内でトレッキングを楽しみました。

当日は天候にも恵まれ、初發神社や新山神社、消防屯所など震災から大きく様変わりした場所、前田の大杉や双葉高校など昔の形をそのまま残している場所がありました。

各ポイントでは昔から伝わる話や復興までの説明を聞くことができ、参加者の皆さんは思い出話に花を咲かせながら、現在の双葉町の風景を楽しんでいました。



● 令和5年度 双葉町民ゴルフ大会

11月4日、双葉ふれあいクラブ主催の双葉町民ゴルフ大会が、いわき市JGMサラブレッドゴルフクラブにて開催されました。

大会は4年ぶりの開催となり、町民や町内企業などから54人の参加者がゴルフを楽しみました。当日は11月としては異例の夏日となり、参加者の皆さんは半袖姿でプレーされていました。

また、鵜沼利一さんがホールインワンという偉業を達成され、大会に華を添えました。

各表彰者は右記のとおりです。

優勝 渡邊 雄二 (敬称略)
 準優勝 伊藤 吉夫
 第3位 高村 政良
 ベストグロス賞 伊藤 吉夫



左から伊藤吉夫さん、渡邊雄二さん、鵜沼利一さん



ふたば、ふたたび☆ガーデンプロジェクト ふたば、ふたたび☆みらいへのヒカリプロジェクト2023

10月31日から11月7日まで、表題のプロジェクトの一貫で、ふたばプロジェクトの職員が避難先自治会や町立学校等の6カ所を訪問しました。訪問先では、プランターへの花苗の植え込みや、イルミネーション飾りの作成を実施していただきました。

ガーデンプロジェクトは、植えていただいたプランターを半分に分け、JR双葉駅前と学校やそれぞれの場所で、お互いに想いを寄せながら育てていくものです。

ヒカリプロジェクトでは12月8日から点灯される双葉駅周辺でのイルミネーションとともに、旧駅舎内に設置する大きなランタンに皆さんの作品を飾り付けます。

今年は、ディンプルアートという小さなステンドグラスのように光を透過する作品を作っていただきました。1月末まで展示していますのでぜひ訪れてご覧になってください。



▲ 県中せんだん同好会



▲ 双葉町県南双樹会



▲ 双萩会



▲ 双葉町つくば自治会



▲ 町立幼稚園・小中学校



▲ 双葉町埼玉自治会

【問い合わせ先】 一般社団法人ふたばプロジェクト ☎ 0240-23-7637

郵便局における「避難先届」による転送取り扱い終了のお知らせ

東日本大震災に伴い避難されている方への郵便物等は、郵便局へ「お客様確認シート（避難先届）」を提出することにより、避難先へ転送されることとなっていますが、令和6年2月29日（木）をもって転送取り扱いが終了となります。※「帰還困難区域」は除きます。

「お客様確認シート（避難先届）」による転送取扱い終了後も現在のお住まいに郵便物等をお届けするためには、郵便局に通常の「転居届」をご提出いただく必要があります。

なお、金融機関等からの郵便物など「転送不要」扱いのものについては転送されなくなるため、ご本人から金融機関等へ送付先の変更を依頼してください。

不明な点や問い合わせについては、下記までお問い合わせください。

【問い合わせ先】 原町郵便局コールセンター ☎ 0570-943-438



◆ クレー射撃で全国大会に出場 ◆

9月23、24日、福岡県立総合射撃場で行われた2023年度クレー射撃フェスティバルに、小川貴永さん（長塚二）が出場しました。

この大会は、国民体育大会（鹿児島県）の代替大会として実施されました。小川さんは、その前段となる8月の第20回東北総合体育大会（国体東北ブロック大会）に出場し、クレー射撃のスキート種目で本大会の出場資格を得られました。

小川さんは震災後、クレー射撃の競技を始めたそうで、選手及び監督として毎年大会に出場しています。



年金事務所からのお知らせ

社会保険料（国民年金保険料）控除証明書が発行されています！

国民年金保険料は、所得税及び住民税の申告において、全額が社会保険料控除額の対象となります。10月下旬から11月上旬にかけて、日本年金機構から「社会保険料（国民年金保険料）控除証明書」が送付されていますので、お手元に届きましたら、大事に保管し、年末調整や確定申告の際に使用してください。

控除の対象となるのは、令和5年1月1日から令和5年10月2日までに納められた保険料（令和5年12月31日までの納付見込分を含む）です。過去の年度分や追納された保険料も含まれます。

また、ご自身の保険料だけでなく、ご家族の負担すべき保険料を支払っている場合は、その保険料も合わせて控除が受けられます。

● 発送スケジュール

	発 送 時 期	対 象 者
①	令和5年10月下旬から 11月上旬にかけて順次発送	令和5年1月1日から令和5年10月2日までの間に国民年金保険料を納付された方
②	令和6年2月上旬	令和5年10月3日から令和5年12月31日までの間に国民年金保険料を納付された方 (①の対象者は除きます。)

● 問い合わせ先の名称：ねんきん加入者ダイヤル

【電話番号】 (ナビダイヤル) ☎ 0570-003-004

050から始まる電話の場合は、(東京) 03-6630-2525

【受付時間】 月～金曜日 午前8:30～午後7:00

第2土曜日 午前9:30～午後4:00

祝日（第2土曜日を除く）、12月29日～1月3日はご利用いただけません。

※国民年金は、老後はもちろん不慮の事故などの万一の時にも心強い味方となる制度です。保険料は必ず納めましょう。

◆◆◆ あなたのお薬見直してみませんか？ ◆◆◆

重複服薬にご用心！

【重複服薬】とは…

一人の患者さんが、同時期にいくつかの医療機関で診察を受けている場合、類似した効果をもつ薬がそれぞれの医療機関から出され、一緒に服薬することを「重複服薬」といいます。



「あなたにとって適切なお薬の飲み方」

重複服薬が健康を損なう可能性があります

違う名前でも、同じ薬だったり、類似した効果を持つ薬だったりする場合があります。一緒に飲むとそれぞれの薬効が必要以上にすぎたり、副作用が強く現れたりする可能性があり、身体への負担が大きくなってしまいます。

防ぐためには…

お薬手帳でしっかり健康管理!!

重複服薬の防止に大切なこと

- 1. 医師に服薬中のお薬を伝える
- 2. かかりつけの薬剤師・薬局を持つ
- 3. 重複受診^(※)を控える
- 4. お薬手帳を1冊にまとめる

自分でチェック
してみましょう!



(※)「重複受診」とは、一つの病気で同時に複数の医療機関にかかることを言います。同じ効果を持つ薬がそれぞれの医療機関で出され、「重複服薬」につながる可能性が高くなります。

薬の豆知識!

「リフィル処方箋」をご存じですか？

令和4年4月から処方薬の新しい受け取り方として「リフィル処方箋」が導入されました。リフィル処方箋とは、症状が安定している患者さんに対して医師が認めた場合、最大3回目まで医療機関を受診せずに薬局で処方箋を受け取ることができる制度です。そのため、リフィル処方箋の場合、2回目・3回目の調剤時には医療機関への受診が必要なくなります。通院にかかる時間や医療費の削減につながるといったメリットがあります。

(医師の判断で2回までとされる場合もあります。)

リフィル処方箋についての注意事項

- 投薬量に制限のある医薬品及び湿布薬等は対象外となります。
- まずはかかりつけ医にご相談をお勧めします。

【問い合わせ先】 健康福祉課 国保年金係 ☎0240-33-0131

お墓参りで出たごみはお持ち帰りください

町内のお墓参りで発生したごみは、必ずお持ち帰りくださいますようお願いいたします。

お盆、お彼岸の期間中、墓地内の使われていない焼却炉等に、ごみを捨てていく事例が見受けられました。墓地の環境美化のため、ご協力をお願いします。

また、供物や供花を残しておきますと、カラスやイノシシ等の野生動物に荒らされる恐れがありますので、こちらも必ずお持ち帰りください。

【問い合わせ先】 住民生活課 ☎0240-33-0126

双葉町の放射線に関する取り組み

双葉町では、町民の皆さんが放射線への疑問・お悩みに対応できるように、さまざまな取り組みをしています。今回は、放射線リスクコミュニケーション相談員支援センターの協力による今年度の取り組みをまとめて紹介します。

先月号で紹介したとおり、8月と9月には参加者が輪のように内側を向いて並んで座り、放射線に関する意見や疑問等を共有する車座意見交換会を郡山支所において2回開催しました。

また、町職員を対象に講義「放射線と健康～双葉町の放射線リスクコミュニケーションから～」を行いました。初めに、放射線に関する基礎知識や常に身の回りのものから放射線を受けていること、町内の空間線量率の推移等について学び、次に放射線による健康への影響や双葉町内を散策した際の個人被ばく線量についての説明がありました。講師は長崎大学の折田真紀子准教授で、長崎大学が18歳以上の町民の皆さんに対して実施した「放射線と健康に関するアンケート調査」結果についての説明もありました。

放射線に関する相談や不安等があれば健康福祉課健康づくり係へお気軽にご相談ください。



車座意見交換会の様子



研修会の様子

作成協力：放射線リスクコミュニケーション相談員支援センター

【問い合わせ先】 健康福祉課 健康づくり係 ☎0240-33-0131

福島第一原子力発電所や双葉町の様子を見学しませんか

放射線リスクコミュニケーション相談員支援センター（以下「放射線リスコミセンター」という）では、福島第一原子力発電所や双葉町の町内を見学する会の参加者を募集します。

詳細は、放射線リスコミセンターまでお問合せください。

- 日 時** 令和6年1月23日（火）8時15分～15時45分（予定）
※見学状況により、時間が前後する場合があります。
- 内 容** 福島第一原子力発電所の見学
意見交換、質疑応答、感想など
バスによる双葉町の見学
- 対 象** 富岡町、大熊町、双葉町、浪江町に住民登録があり、現在は町外に居住している方
- 交通手段** バス（全行程）※いわき駅集合・解散
- 定 員** 15名程度（最小催行人数5名）
- 費 用** 無料 ※いわき駅までの交通費及び昼食代は、各自負担となります。
- 申し込み方法** 放射線リスコミセンターへ、お電話またはメールにてお申込みください。
- 申込期限** 令和5年12月22日（金）

【問い合わせ】
放射線リスコミセンター
☎0120-478-100
（土・日・祝日を除く9:00～17:00）
✉ F-sodan@nsra.or.jp



放射線リスコミセンター
ホームページ

みんなで考えよう、日本の行事食について

・行事食は、季節に合わせた旬の食材を取り入れることが多いため、美味しさだけではなく、それぞれの時期で体に必要な栄養を取り入れることができます。

・大人から子どもへ伝える、日本の行事食について

お正月や節句など、日本には昔から季節ごとにたくさんの年中行事があります。その行事やお祝いの日食べる特別な料理が「行事食」です。昔から受け継がれてきた行事食に込められた思いや意味を知ること、より深く日本の食を楽しむことができます。ぜひご家庭でも、家族で一緒に行事食を作りながら、由来や意味のお話をしてみてください。

みんなで一緒に作ってみよう！

～フライパンで簡単 伊達巻き～



◎伊達巻きの由来・意味

巻かれた形状が巻き物に似ていることから学業成就の願いが込められている。黄色は子宝を連想させ、材料である卵の丸い形は家庭円満を表し、子孫繁栄の意味が込められている。

【材料（2～3人分）】

- ・はんぺん …… 100g
- ・卵 …… 4個
- (A) {
 - ・砂糖 …… 大さじ2
 - ・しょうゆ …… 小さじ1
 - ・みりん …… 大さじ1
 - ・料理酒 …… 大さじ1
 - ・はちみつ …… 小さじ1
 - ・サラダ油 …… 適量



※お子さんと作る場合は、包丁の扱い・やけど等の怪我には十分注意しましょう。



作り方

- ① フードプロセッサー（またはミキサー）に適当な大きさに切ったはんぺん、卵、Aの調味料を入れ、滑らかな生地をつくる。
- ② ザルなどで生地をこし、より滑らかな生地にする。
- ③ フライパンに薄く油をひき、弱火にし、フライパンが温まったら②の生地を流し込む。
- ④ 蓋をして、弱火で焼き色がつくまで焼く。（目安時間：7～10分）片面が焼けたら、ひっくり返して裏面も同様に、蓋をして焼く。（目安時間：1～2分）
- ⑤ 焼けたら、フライパンから取り出して、焼き色の濃い方を下にして巻きすの上におく。
- ⑥ 生地の内側に、2cm間隔目安で1～2mmの隠し包丁をいれる。次に、巻きすで少しきつめに巻いていく。
- ⑦ 1度巻いた巻きすを外して、巻いた状態の伊達巻きをもう一度巻きすで巻いていく。
- ⑧ 両端を輪ゴムでしっかり止めて、形をつけるために冷やす。両端を1～2cm切り落とし、好みの厚さに切ったら、完成！！

双葉町社会福祉協議会

～ 12月 健康運動教室・サロンのお知らせ ～

こころとからだの健康のため、運動不足を解消しましょう。参加をご希望の方は、事前申し込みが必要となりますので、下記問い合わせ先へご連絡ください。

● 健康運動教室

会 場	開催日	時 間	問い合わせ・申込先
南東北総合卸センター 2階第6会議室 (郡山市喜久田町卸1丁目1-1)	①毎週水曜日 ②毎週木曜日 のどちらか	13:30～15:00	郡山事務所 ☎ 024-973-5291
福島市老人福祉センター 2階研修室 (福島市仁井田字八ツ割川原3)	12月 5日(火)		
双葉町役場南相馬連絡所 1階会議室 (南相馬市原町区青葉町2-62-2)	毎週水曜日		南相馬出張所 ☎ 080-5730-1166

● 社協サロン

会 場	開催日	時 間	問い合わせ・申込先
双葉町産業交流センター大会議室 (双葉町大字中野字高田1-1)	12月21日(木)	10:30～12:00	双葉町地域包括支援センター ☎ 0246-84-6729



厚生労働省福島労働局委託事業「福島雇用促進支援事業」



福島広域雇用促進支援協議会からのお知らせ

働きたいネットの就職応援マルシェ【出張求職者カフェ】

参加無料・予約不要

ハローワーク富岡に求職者カフェがやってきます！就職活動に役立つ支援が無料で受けられます。是非お越しください。

日 時 12月13日(水) 9:00～12:00

場 所 ハローワーク富岡 2階 会議室

支援メニュー

- ・証明写真撮影 ※撮影希望の方はスーツ等の着用がおすすめ！
貸出用ジャケット有
- ・応募書類作成 ・面接対策 ・適職診断 等



【求職者向け】ふくしまで働こう@オンライン企業説明会

- お仕事を探している人集合！ 福島県の企業36社程度が集結！仕事の内容、職場環境など気軽に情報収集できます。お仕事相談もできます。
- 移住に興味のある方、どうぞ！ 福島へ帰還を考えている、移住はどうか～と思っている方必見です。補助金や支援制度、地域の情報など盛りだくさん。
- 日 時… 令和6年1月19日(金) 13:30～16:30
- 参加方法… オンライン(Zoom使用) 電話から申込
- 締 切… 1月16日(火)

情報収集やきっかけづくりに参加してみませんか。オンライン初心者も、スマホやパソコンで、簡単に参加可能！ふくしまでお仕事を探している方、ぜひご参加ください！

【問い合わせ先】 ホームページ [「働きたいネット」](#) で検索

福島広域雇用促進支援協議会 福島統括窓口(福島市中町4番20号 みんなビル202号)

☎ 024-524-2121 FAX 024-524-2125



消防署からのお知らせ

ヒートショックにご用心!

本格的に寒くなる12月から3月にかけてヒートショックによる入浴中の事故が多発します。

ヒートショックとは、暖かい部屋から寒い部屋への移動や急激な温度変化によって、血管が急激に収縮し、血圧が上昇することで意識消失や脳卒中、心筋梗塞を引き起こすことをいいます。入浴中や高齢者に多いのが特徴です。

自分は大丈夫と過信することなく次のポイントに気をつけて、事故を未然に防ぎましょう。

①入浴前には
脱衣所や浴室を暖める。



②入浴前後は水分補給をする。



③湯の温度は41度以下、湯につかる時間は10分までにする。



④湯船から出るときは、ゆっくりと立ち上がる。



⑤食後すぐ、飲酒后、服薬後の入浴を避ける。



⑥家族がいる場合は、入浴前に一声かける。



消火器の処分方法について

消火器の処分方法は2通りあります。

- ①消火器リサイクルセンターで指定されている「特定窓口」、「指定引取場所」で回収を行っています。詳しくは右のQRコードを確認してください。
また、処分には消火器リサイクルシール代及び運送・保管費用が必要になります。
- ②ホームセンターでは、新しい消火器を購入すると、古い消火器を無料で引き取ってくれるサービスを行っている場合がありますので、お店の方に確認してください。

※消火器の耐用年数が過ぎているもの、さびや腐食、大きな傷がある場合は、処分の目安となります。



消火器リサイクル
窓口検索QRコード



2023年度全国統一防火標語 【火を消して 不安を消して つなぐ未来】

火事と救急は119番

<消防署連絡先>

・浪江消防署 ☎0240-34-4111
・葛尾出張所 ☎0240-29-2119

公立双葉准看護学院 令和6年度学生募集

公立双葉准看護学院では、一般入学試験を実施します。
地域に寄り添う看護のプロを目指しましょう!!

◇募集人員：30名

◇修業年限：2年(全日制)

◇受験料：1万円

◇受験資格：中学校卒業以上の者
(令和6年3月卒業見込を含む・年齢不問)

◇出願期間：

令和6年1月5日(金)～1月26日(金) 必着
午前9時～午後4時30分まで
(土・日・祝祭日を除く)

◇試験日：令和6年2月1日(木)

◇試験科目：筆記試験(国語)、作文、面接

出願・問い合わせ先

公立双葉准看護学院 〒975-0036 南相馬市原町区萱浜字巢掛場45-76
☎0244-32-0990 E-mail: futajyun-kango@aioros.ocn.ne.jp

環境省 福島地方環境事務所からのお知らせ

除染・解体工事について

● 特定帰還居住区域の被災家屋等の解体申請について

環境省では、双葉町の特定帰還居住区域（下長塚行政区、三字行政区のそれぞれの一部）の建物解体の申請を受付けています。解体を希望する場合は、解体申請の受付窓口にご相談ください。

※特定復興再生拠点区域の解体申請は8月31日をもって締め切りました。

【解体申請受付窓口】 高島テクノロジーセンター（令和5年度環境省業務受託業者）

<場 所> いわき市東田町2丁目19-3 トークビル1-A号棟（双葉町いわき支所の隣）

<受付時間> 月曜日～金曜日 8:30～17:15（祝日及び年末年始を除く）

<連絡先> ☎ 0120-773-275（フリーダイヤル）

中間貯蔵施設について

◇ 中間貯蔵施設見学会について

▶ 中間貯蔵工事情報センターでは、工事の進捗を紹介するため、中間貯蔵施設をバスで巡る見学会を開催しています。12月は、15日（金）、16日（土）を予定しています。

見学のお申し込み・お問い合わせは、中間貯蔵工事情報センター（☎ 0240-25-8377）までお願いします。（URL）http://www.jesconet.co.jp/interim_infocenter/index.html



◇ 輸送について

双葉町内中間貯蔵施設の受入・分別施設等への輸送の状況は下記のとおりです。

・令和5年度は、24,582㎡搬入しています。（平成27年からの累計は3,923,266㎡）※10月31日現在

▶ 12月27日（水）～1月7日（日）は輸送を休止いたします。

◇ 放射線モニタリングについて

▶ 空間線量率の測定により、除染土壌等の搬入による周辺への影響は見られないことが確認されています。今後もしっかりと安全対策及び放射線の監視を行ってまいります。

▶ 中間貯蔵施設及び周辺モニタリングの結果については、以下のJESCO（中間貯蔵・環境安全事業株式会社）のHPで公表しております。（URL）<http://www.jesconet.co.jp/interim/operation/monitoring.html>



【問い合わせ先】 福島地方環境事務所 中間貯蔵部 中間貯蔵総括課 ☎ 024-563-1293

インボイス制度への対応について

令和5年10月1日より、適格請求書等保存方式（インボイス制度）が開始されました。

● 水道料金及び下水道使用料のご請求における対応

（1）適格請求書（インボイス）発行事業者登録番号について

双葉地方水道企業団 水道事業会計 T9000020078883

（2）適格請求書（インボイス）について

「使用水量のお知らせ」（検針票）、「納入通知書」及び「督促状」をインボイスとし、登録番号、適用税率及び消費税額を記載します。

※なお、当インボイスにつきましては、媒介者交付特例を適用し水道事業者である当企業団の登録番号のみを記載しますので、下水道事業者の登録番号は記載しません。

【問い合わせ先】 双葉地方水道企業団 総務課営業係 ☎ 0240-25-5323

辰 (たつ) 年生まれの皆さん、広報ふたばに新年の抱負を掲載しませんか

●掲載号：令和6年1月号 ●文字数：300字程度 ●原稿締切：12月7日（木）
※顔写真が1枚必要となります。

寄稿して下さる方には、原稿用紙をお送りします。詳しくは下記までお問い合わせください。

【問い合わせ先】 秘書広報課 ☎0240-33-0125 ✉ hisyo-koho@town.futaba.fukushima.jp

県南双樹会研修旅行

11月2日、県南双樹会研修旅行を実施しました。今回は、会津若松駅から快速「只見線満喫号」に乗車し、会津川口駅まで車窓から紅葉を楽しみました。

バスで柳津町を通過して会津若松市内に戻り、会津料理「田喜野」で昼食をとった後、飯盛山に登りました。朝のうちは雨や霧がありましたが、徐々に雲が切れてきました。

白河に戻ったのは夕方になりました。来年も研修旅行を実施したいと参加者で話しながら帰路に着きました。 会長 館林 孝男



双葉の風だより

全国に避難されている皆さんから寄せられたお便りの一部をご紹介します

【文芸】

俳句・冷奴 季節変って 湯ドーフに

短歌・栗おこわ 供い存りし日 偲びおり

亡夫の命日 三十六忌

・原事故で 移動九回 十余年

異郷の地にて 今年も暮れる

・移り来て お世話になりし

隣友は忘れないよと 施設に発ちぬ

里謡・太良連山に冠雪光り うさぎを連れて

今年暮れる

今泉 禮子(長塚二)

人のうごき10月分 敬称略

お誕生おめでとうございます

氏名	生年月日	保護者	行政区
西牧 幸音 <small>ゆきと</small>	10月4日	孝幸・由佳	羽鳥
大内 志音 <small>しおん</small>	10月16日	幸二・春香	三字

連絡のついた方で、了承の得られた方のみ出生、死亡の方の名前を掲載しています。

なお、掲載を希望しない場合は秘書広報課までご連絡ください。

お悔み申し上げます

氏名	年齢	死亡日	行政区
安部 忠直	75	9月26日	下条
山本 英子	91	10月2日	下条
本林 チイ	88	10月2日	羽鳥
岡田スミ子	87	10月1日	山田
鈴木 常夫	88	10月11日	下条
柳沼喜美男	70	10月12日	長塚二

秘書広報課

☎0240-33-0125

双葉町民の避難状況 (令和5年11月1日現在)

※平成23年3月11日時点の住民基本台帳人口から死亡者を引き、出生者と転入者を加えた人口を示しています。

・福島県内に避難されている方 3,863人

・福島県外に避難されている方 2,695人

記録として次の世代へ
ふるさと

絆通信

第117号



ずっと、ふるさと。双葉町。



双葉町を忘れない

平成23年3月11日に発生した東日本大震災、そして東京電力福島第一原子力発電所の事故により、私たち双葉町民はふるさと双葉町を離れ、今もなお全国に分かれて避難生活を送っています。

先のない不安な生活の中で、町民の皆さんが毎日をどのような思いで過ごし、ふるさと双葉町への思いを抱き続けているのかを、皆さんの声をお聴きしながら「ふるさと絆通信」として連載していきます。

そして「ふるさと絆通信」を通して、皆さんの双葉町への思いと心の絆がより一層深まることを期待いたします。



「ふるさと絆通信」で

あなたの想いを伝えてみませんか。

ふるさと絆通信では、避難されている皆さんへ想いを伝えていただける方を募集しています。

避難生活での活動や日々の生活の中で感じていること、ふるさと双葉町への想いをこのコーナーでお話ください。双葉町民の方ならどなたでも結構ですので、ご連絡をお待ちしています。

株式会社鹿島印刷所（南相馬市）の記者が町民の皆さんの避難先を訪問し、インタビュ取材をさせていただきます。

掲載する文章は、その内容をもとに記者が作成しますので、インタビューをお受けいただいた方が文章を作成する必要はありません。

【問い合わせ先】 秘書広報課
☎ 0240-33-0125



いがり けいこ
猪狩 敬子 さん

(長塚一)



●居住先●
双葉町駅西住宅

周囲の方々からの励ましで

浪江町出身で結婚を機に双葉町民となりましたが、隣町同士で土地勘があり親戚や知人・友人もいるため、生活に大きな変化はありませんでした。

子育てに一区切りがつき、夫婦で自由気ままな時間が持てるようになった矢先、夫に先立たれましたが、義父や子どもたちをはじめ、周囲の皆さんからの励ましもあり少しずつ日常を取り戻すことができました。

人々のふれあいを感じられる中

長年、浪江タクシーに勤務し、自宅近くにあった営業所(東邦銀行双葉支店隣)で、電話による迎車の受付やドライバーとの無線応対にあたっていました。常連のお客様が多く、働き始めて数年経った頃には、受話器から聞こえる声を聞いただけでお客様が誰か分かることも多く、また、お客様も私のことを覚えてくださるなど、人々のふれあいを感じられるような地域の繋がりの中、楽しく働かせていただきました。

家族離ればなれの日々

原発事故による避難では、未曾有の事態で混乱もあり、デイサービスに通っていた義父とは離ればなれになりましたが、しばらくして会津坂下町の施設でお世話になっていることがわかりました。一方、私は県内外各地を経て白河市に落ち着きました。が、両市町間は交通の便が良くないため、

頻繁に面会に行くことはできませんでした。そこで、関係各位にお願いし皆さまのご尽力もあり、平成23年末、白河市内の施設に移れる予定でしたが、それを目前に力尽き、叶わぬこととなってしまいました。

帰還への希望が見えてきた

町を離れて間もなくの頃は、故郷には帰れないと言われていましたが、一時立入りできるようになり、数年後には除染が始まり、帰還への希望が持てるようになりました。そのため、駅西住宅の入居者募集には真っ先に応募し、町に戻る準備を始めましたが、家族や周りの方々からは、不便な生活を心配して反対されました。

町の様子は変わっても「故郷は同じ」

駅西住宅に暮らし始めて先月で1年を迎えました。入居当初、度重なる報道取材にストレスを感じることもありましたが、一人でも多くの方が帰還や移住をすることに繋がればと思い協力してきました。何度も同じことを質問されるなど快く感じられないこともある一方、実際の生活で感じたメリットやデメリットを話すことで、郵便局の開設など、インフラの整備・充実に繋がり、少しは新しい故郷づくりの役に立っているのかなと感じることもあります。

町の様子は変わってしまいましたが「海から陽が昇り列車の音が聞こえる」そうした基本的な姿は震災前と同じです。

今月のベストスマイル



編集後記

梅檀祭で双葉中学校の生徒が、職場体験で感じたことをまとめ発表しました。タイトルの「再興」の意味は、いったん衰えたものが勢いを盛り返すことだそうです。中学生にとって、双葉町内や関係する事業所での職場体験が、希望を感じる内容だったことがうれしく感じました。

これまで町内の建物に壁画アートを描いてきたフタバアートデストリクトの皆さんが、令和5年度双葉町表彰式において感謝状を受けられました。その御礼にと新たに町図書館に描いた光り輝くダルマの絵は、これからの町の復興を願い、右目は目入れをしていない状態にしたそうです。図書館の壁には七転び八起きというテーマのとおり、8体のダルマが描かれました。



双葉中学校 復活のピアノリサイタルは、ペンギンの山本敦子さんが司会進行を務めました。終演後、西村由紀江さんとの笑顔です。

連絡先

- **双葉町役場 本庁舎**
〒979-1495
福島県双葉郡双葉町大字長塚字町西73番地4
☎ 0240-33-2111
FAX 0240-33-2115
✉ futaba@town.futaba.fukushima.jp
- **いわき支所**
〒974-8212
福島県いわき市東田町二丁目19-4
☎ 0246-84-5200
FAX 0246-84-5212
✉ iwaki@town.futaba.fukushima.jp
- **郡山支所**
〒963-8024
福島県郡山市朝日一丁目20番2号
☎ 024-973-8090
FAX 024-933-5120
✉ fukushima@town.futaba.fukushima.jp
- **埼玉支所**
〒347-0105
埼玉県加須市騎西36番地1 加須市騎西総合支所2階
☎ 0480-53-7780
FAX 0480-53-7266
✉ saitama@town.futaba.fukushima.jp
- **南相馬連絡所** (午前8時30分～正午、午後1時～午後5時15分)
〒975-0039
福島県南相馬市原町区青葉町2-62-2
☎ 0244-32-1275
FAX 0244-32-1277
- **つくば連絡所** (月・火・水 午前9時～午後5時)
〒305-0044
茨城県つくば市並木3丁目1 551棟
☎/FAX 029-854-7511

- **双葉町公式ホームページ**
<https://www.town.fukushima-futaba.lg.jp/>
- **双葉町公式YouTubeチャンネル**
<https://www.youtube.com/user/futabakoho>

- **双葉町産業交流センター公式ホームページ**
<https://www.f-bicc.jp/>
- **双葉町公式ブログ「ブログふたばのわ」**
<https://futabanowa.wordpress.com/>

